

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 2月 28日

事業所名 療育支援エフ石丸教室

保護者等数(児童数) 31名(33名) 回収数 18 割合 58%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1		5		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11			6	誰がどんな専門性の免許や経験があるか不明	配置の最低人員が児童発達支援管理責任者×生徒5名に対し職員1名となっております。石丸教室では児童指導員2名(教員・社会福祉士等)、保育士2名、指導員2名配置しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			11		玄関に段差がございますが、室内はバリアフリーになっております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16	2			とても丁寧に対応くださり、助かります	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	2	1	4		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	10		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1		1	発達の状況や課題が分かっているのであれば、文章化し教えてほしい	タブレット学習でのデータ等をお渡ししていくことで見える化に努めていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	4	2	2	年に1回程面談をしてほしい	担当者会議を年1回行いますが、それ以外でも面談のご希望がございましたらお気軽にお問い合わせください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	9	5	保護者会はぜひ開催してほしい	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			5	今苦情を出していない	随時対応しておりますので、気になる点がございましたらお問い合わせください。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18				メールやノートで分からない点など確認しながら進める事が出来ている	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1		3		
	14 個人情報に十分注意しているか	17	1				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	3	1	5		教室内にPOP掲示しております。また職員用にマニュアルを作成しております。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1	1	5		年2回実施しております
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	13	5			とても楽しみにしています	
	18 事業所の支援に満足しているか	17	1				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 28日

事業所名 療育支援エフ 石丸教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	4	3	スペースを最大限に活用し、職員配置も声掛けをしながら業務にあたっている。	ひとりで落ち着けるようなスペースが欲しいと感じる事がある。
	2	職員の配置数は適切である	5	2	カリキュラム、タブレットをじっくりと取り組むには増員が必要	人数は足りているが、たまに児童の数と職員の数(配置)が一つの部屋に偏る事があるため職員で共有を行いたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	ロッカー等の角にはコーナークッションを貼るなど安全面に配慮。視覚指示が出来るよう各所に掲示物を設置。	現在該当者はいないが、玄関の段差とトイレまでが車いすまでは通れない。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	・午前中にミーティングを行っている。 ・毎日のミーティングと月数回のエリアミーティングにて取り組んでいる	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	4		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3	研修動画を用いて、資質の向上と支援の一本化に努めている	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	3		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	子どもに応じたカリキュラムを作成するためにミーティングで話し合い文章化した。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	各事業所にて行っている。話し合いは出来ている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3	・日々の支援の中で情報等を収集し、個々の課題を決めている。 ・その時々の子どもの様子を見て職員の共通理解を話している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	3		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		翌日午前中に行っている。ミーティング、もしくはその時に共通理解、伝達を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	3		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	3		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4	マニュアルの整備、周知	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		訓練後には反省点、改善点をしっかりと振り返る必要がある。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	4	児童への対応、トラブルの解決法を職員間で話し合っている。	外部の研修も含め機会を作る
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	4		
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	4	・保護者様から十分に情報を頂いている。 ・個々のアレルギーの有無を職員間で情報共有している。 ・医師の指示書ではなく、保護者様からの情報。全員の食後の手洗いや食べこぼしの掃除の徹底。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3		